

軽防協ニュース速報 号外

2005年4月7日

軽種馬防疫協議会 事務局

(JRA 馬事部防疫課)

フランスにおける馬伝染性貧血の発生について

OIE（国際獣疫事務局）発表。

フランス農務省の食料総合局の副局長である Dr.Monique Eloit より受理。

4月1日、フランス中央部のウールエロアール県 Barjouville 地区の乗馬センターの在きゅう馬 22 頭のうち、セルフランス種の 10 歳牝馬 1 頭が、コギンズテスト（寒天ゲル内沈降反応）により馬伝染性貧血と確定診断された。この発生に対する防疫規制措置として、同乗馬センターの馬については移動禁止の措置を、発症馬については安楽死の処置が施されることとなった。

なお、フランスにおける馬伝染性貧血の発生は 2001 年以来のことである。

EU 諸国内においては、ここ 2 年間で昨年 6 月と本年 3 月にイタリアで発生したのみであった。

2003 年は、世界 28 カ国で報告があり、アメリカ大陸、オーストラリア、東南ヨーロッパ（主にバルカン諸国）などで認められた。